

教 生 学 第 574 号
平成 30 年 10 月 12 日

各 教 育 局 長
関係道立特別支援学校長
各市町村教育委員会教育長
様
(関係市町村立学校長)

北海道教育庁学校教育局参事 (生徒指導・学校安全) 齊 藤 順 二

「安全マップコンクール」応募作品に係る審査結果について (通知)

このことについて、主催した関係機関による審査の結果、別紙のとおり受賞作品が決定しましたので通知します。

つきましては、受賞作品等を参考に自校の安全マップを改善充実させるなど、学校安全の取組が一層推進するようお願いいたします。

なお、受賞作品については、後日、北海道教育委員会のウェブページに掲載することを申し添えます。

(生徒指導・学校安全グループ)

「安全マップコンクール」受賞作品

優秀作品賞名	管内等	学校名
北海道知事賞	札幌市	札幌市立幌北小学校
札幌市長賞	札幌市	札幌市立北九条小学校
北海道警察本部長賞	オホーツク	網走市立潮見小学校
北海道教育委員会教育長賞	日高	えりも町立東洋小学校
札幌市教育委員会教育長賞	札幌市	札幌市立石山南小学校
北海道新聞社賞	留萌	留萌市立東光小学校

北海道新聞社賞【留萌市立東光小学校】



児童が主体となって作成されており、保護者や地域住民の聞き取り結果も取り入れてい
ます。マップもイラストを用いて丁寧に作成され
ており、危険な理由も具体的に記載されています。

「安全マップ」コンクール

児童自身が危険な箇所を把握して、自分の安全を守る意識の向上と、地域全体で子供を見守る
気運の醸成を図ることを目的に、全道の小学校で作成した「安全マップ」のコンクールを開催しま
した。8月20日に募集を開始し、9月28日までの期間に、全道から31作品の応募があり、主催機関で審
査基準である、

- 犯罪被害防止、交通安全、防災など子供の安全に関するマップであるか
- 危険な場所、注意すべき場所とその理由が記載されているか
- 見やすく分かり易い工夫がされてるか
- 地域住民が関わって作成されているか
- 児童が主体となって作成されているか

に基づいて、審査を行い、優秀作品6点を決定しました。

コンクール参加小学校(50音順)

奥尻町立青苗小学校、札幌市立石山南小学校、帯広市立稲田小学校、江差町立江差北小学校、
帯広市立大空小学校、豊富町立兜沼小学校、神恵内村立神恵内小学校、札幌市立北九条小学校、
札幌市立北郷小学校、壮瞥町立久保内小学校、札幌市立幌西小学校、札幌市立幌北小学校、
網走市立潮見小学校、札幌市立資生館小学校、士別市立士別小学校、士別市立士別西小学校、
士別市立士別南小学校、富良野市立樹海小学校、千歳市立祝梅小学校、砂川市立砂川小学校、
釧路市立中央小学校、留萌市立東光小学校、えりも町立東洋小学校、札幌市立西宮の沢小学校、
富良野市立東小学校、札幌市立福井野小学校、富良野市立富良野小学校、平取町立振内小学校、
函館市立北星小学校、八雲町立山崎小学校、札幌市立山の手小学校

たくさんのご応募ありがとうございました。

「安全マップ」コンクール 優秀作品発表

主催 北海道・札幌市・北海道教育委員会・札幌市教育委員会・北海道警察
後援 北海道新聞社

2018年10月11日

北海道知事賞【札幌市立幌北小学校】



写真で危険箇所を解説するな
ど、見やすさへの配慮と丁寧さが
感じられます。特に、地域住民と
一緒に調査を行い、警察署にイン
タビューをするなど積極的な研
究の様子がうかがえます。

←(拡大写真)
危険箇所を説明

(拡大写真)→
警察署への取
材の様子

札幌市長賞【札幌市立北九条小学校】



学校内での
掲示

児童が主体的に作成し、気をつけるべき点などを地図に印を付けて写真で解説するなど、見やすさへの配慮と丁寧さが感じられる安全マップです。

北海道教育委員会教育長賞【えりも町立東洋小学校】



↑(拡大写真)
写真で避難場
所等を説明

海拔を調べて色分けし、安全な場所を具体的に示しており、写真でわかりやすく工夫した作品です。児童の主体的な調査に基づき作成したものでオリジナリティがあるとともに、感想により成果品を検証しているところは素晴らしいです。

北海道警察本部長賞【網走市立潮見小学校】



見直しポイント
を話し合い、改訂
作業をしている
様子

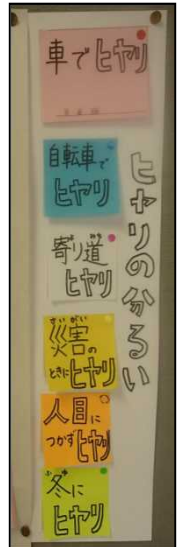


中学生やPTA役
員にも改訂作業に
加わってもらっ
ています。

児童が主体となって安全マップの改訂を行っており、危険箇所は、危険な理由がわかりやすく記載されています。また、中学生等が作成に係るなど、地域との連携が強いと感じられました。

札幌市教育委員会教育長賞【札幌市立石山南小学校】

【各学年が作成した安全マップ】



↑(拡大写真)
「車ではヒヤリ」、「人目につかずヒヤリ」などを色分け

児童自らが課題意識を持ち、車・災害・人目など項目別に色分けして「ヒヤリ」ポイントを記載し、危険な理由が分かりやすいマップに仕上がっており、児童の主体性とオリジナリティがある安全マップです。